

令和8年度
港北区地域の子カラ応援事業

自治会町内会との 連携コース募集

連携コースの内容

市民活動団体が自治会町内会と相互に連携して、地域の課題解決や魅力づくりを主体的に行う事業が対象となります。

事業の対象者は団体の構成員以外の港北区民である必要があります。

応募をご検討の方は、地域力推進担当（下記の連絡先）まで一度ご相談ください。

相談受付開始

令和8年 **3月2日**(月)



※本事業は横浜市会における令和8年度予算の議決をもって確定します。

※予算の上限に達し次第、締め切ります。

主なスケジュール

申請書の提出
内部で審査を行い、補助金交付決定通知を送付します。

事業の実施
事業を実際に始めます。
区役所では広報のお手伝いをします。

活動の報告
年度半ばに開催する交流会で、それまでの活動の報告をします。

報告書の提出
年度最後に、活動の実績をまとめた報告書を提出します。

お問合せ
ご相談先

港北区地域振興課 地域力推進担当

電話 540-2247 E-mail ko-chikara@city.yokohama.lg.jp

地域のチカラ応援事業 連携コース概要

コース名	連携コース
補助金額とその他	上限30万円 「港北区役所」の後援の名義使用
団体の要件	この要綱に基づく補助金交付回数が通算3回以下であること。※チャレンジコースとの併用は可能 <ul style="list-style-type: none"> ・5人以上の構成員を有し、団体への参加について制限を設けていないこと。 ・団体の構成員の半数以上が港北区に在住、在勤、在学していること。
事業の要件	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会町内会と相互に連携して実施する事業であること。 ・地域住民による地域の課題解決や魅力づくりに向けた主体的な事業であること。 ・主な対象者を港北区民とし、団体の構成員以外を対象とした事業であること。 ・補助対象経費の5分の1以上の自主財源が用意できる事業であること。 ・補助金の交付決定があった日の属する年度中に実施する事業であること。
申請書類	<ol style="list-style-type: none"> 1 補助交付申請書（第1号様式） 2 団体の概要書（第2号様式） 3 活動実績（第3号様式） 4 事業計画書（第4号様式） 5 事業収支予算書（第5号様式） 6 団体の規約又はこれらに類する書類 7 連携する自治会町内会の事業実施についての確認書（第16号様式） 8 相利評価表

留意事項 ※補助金の使途には制約があります。

補助金の対象経費

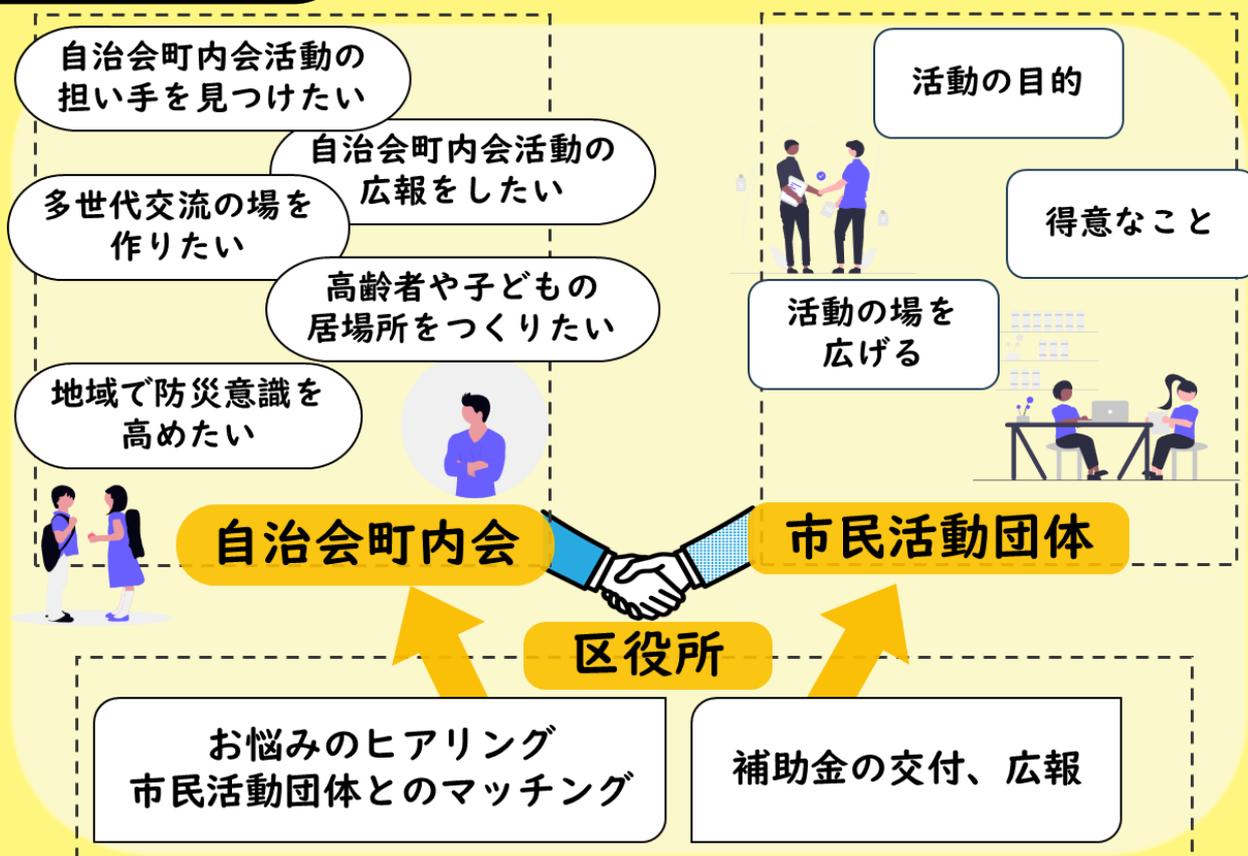
- (1)講師、指導者及び協力者等への謝金
- (2)事務用品、材料費等の消耗品費
- (3)印刷費
- (4)郵送料その他の通信運搬費
- (5)会場、機材等の使用料及び賃借料
- (6)保険料

※交際費、慶弔費、懇親会費、直接事業と関連のない視察・研修費・食糧費等、客観的に公益上必要性が高いとはいえない経費については、補助金の対象外となります。

次のいずれかに該当する事業は、補助対象外となります。

- (1)国又は地方公共団体から既に補助金が交付されている事業又は今後補助金が交付されることが決定している事業
- (2)営利を目的とする事業
- (3)宗教的又は政治的宣伝意図を有する事業
- (4)団体の親睦を目的とする事業
- (5)他の団体への助成を目的とする事業
- (6)公序良俗に反する等、補助対象として適当でないと認められる事業
- (7)その他、横浜市港北区長が適当でないと認めた事業

連携コースとは



港北区地域のチカラ応援事業では、自治会町内会と市民活動団体の連携による活動を支援しています。

自治会町内会と市民活動団体が連携し、自治会町内会が抱える課題の解決や、担い手の育成につなげていくことで、港北区の「地域のチカラ」を育てていけるよう応援していきます。

令和7年度連携コース団体

団体名	団体概要	連携先自治会町内会名
大倉山プラチナヒップホップダンス実行委員会	60~80代のシニア世代がダンスレッスンを受け、町会のイベントで披露 ⇒シニア層の健康増進や町会の活性化	大倉山地区連合町会
熊野の森もろおかスタイル	「師岡梅の丘公園」への梅の植樹など、子ども向けイベントを開催 ⇒子育て世代の地域活動への参加を促進	師岡地区連合町内会
NPO法人 タネとスプーン 虹色畑クラブ	地域住民と引きこもり等の当事者がともに麦踏み作業を行う交流型援農イベントを開催 ⇒住民同士のつながりづくり	新吉田第四自治会
キッズスマイルみのわ	子どもたちが地域で活躍する大人にインタビューし、動画配信を行う ⇒町内会の活動内容等を広く発信	箕輪町町内会
綱島の防災・減災を考える会	転入世帯や若い世帯に対し、防災講習会を開催 ⇒防災を通じて地域活動への参加を促進	綱島地区連合自治会

令和7年度連携コース応募団体のご紹介

キッズスマイルみのわ



子どもたちによる箕輪町町内会の方々へのインタビュー。

キッズスマイルみのわは、箕輪町を元気にすることを目的とした子どもが主役の団体です。連携コースの対象事業として、箕輪町町内会と連携し、子どもたちの力で箕輪町や箕輪町町内会を活性化する取組を始めました。

令和7年度は、子どもたちが箕輪町で活躍する大人たちにインタビューをし、その内容をもとに動画を作成、配信するという取組を行っています。

そのほか、町内会、子どもたち、保護者が協力して実施する餅つき大会や、町内会のシニアクラブと協力した「昔遊び」のイベントも行います。

網島の防災、減災を考える会



写真左：減災行動展での消火器体験。写真右：網島防災講座では各自のスマートフォンで、防災情報へのアクセス方法を体験。

網島の防災、減災を考える会は、地域を災害から守るため、防災の知識を高めるとともに、地域に減災、防災のための行動を広めていくことを目的とする団体です。

転入世帯が多い網島地区の特性も踏まえ、防災、減災の取組をとおして地域のつながりづくりや世代間交流の機会とする活動を進めて行きます。